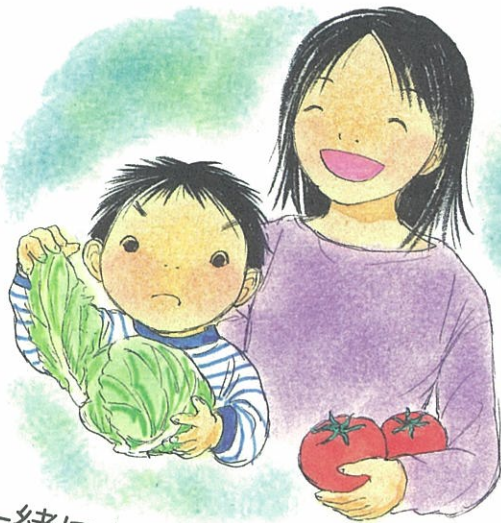


### 食べる意欲を大切に、食の体験を広げよう

毎日が楽しい食の体験！

散歩で見つけた  
これなーんだ？



一緒に料理づくり

「食べる意欲」は「食べる」力の原点。特に、幼児期は、さまざまな食べ物と出会い、それらの食べ物に親しんでいくことによって、食べたいもの、好きなものが増えていく重要な時期にあります。

食べ物との出会いが限られ、食べ物に親しむ機会が少ないと、食べ慣れないもの、嫌いなものが増えてしまうことになります。

おいしそうってこんなこと！

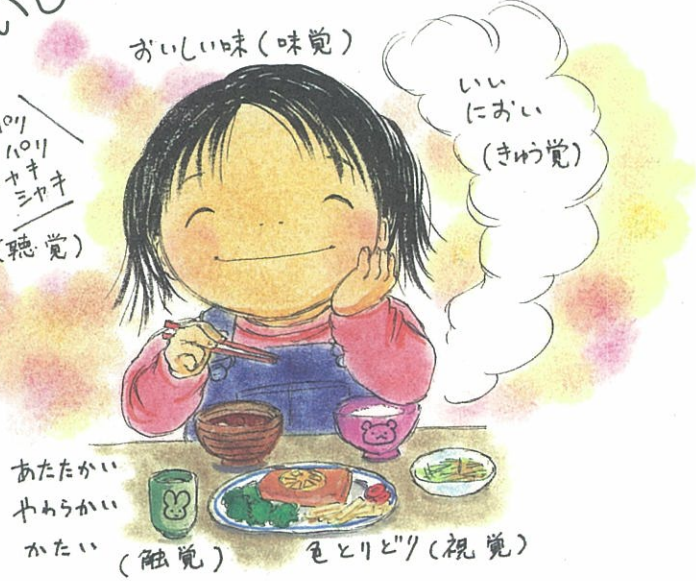
ハッパ  
ハッパ  
シヤキ  
シヤキ  
(聴覚)

おいしい味(味覚)

いい  
におい  
(きゆう覚)

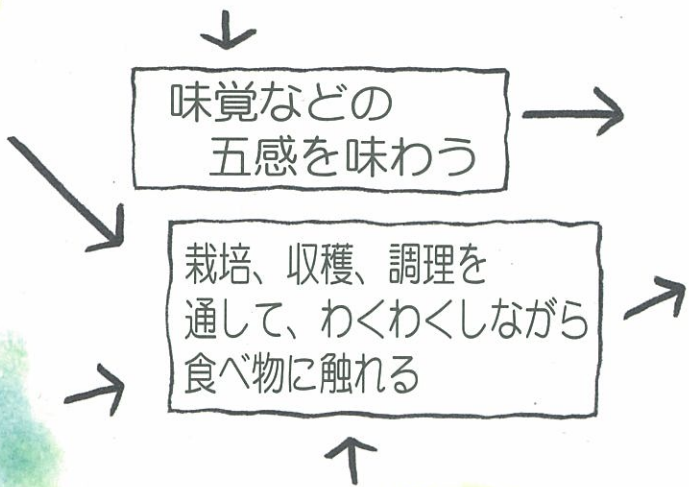
あたたかい  
やわらかい  
かたい  
(触覚)

色とりどり(視覚)



味覚などの  
五感を味わう

栽培、収穫、調理を  
通して、わくわくしながら  
食べ物に触れる



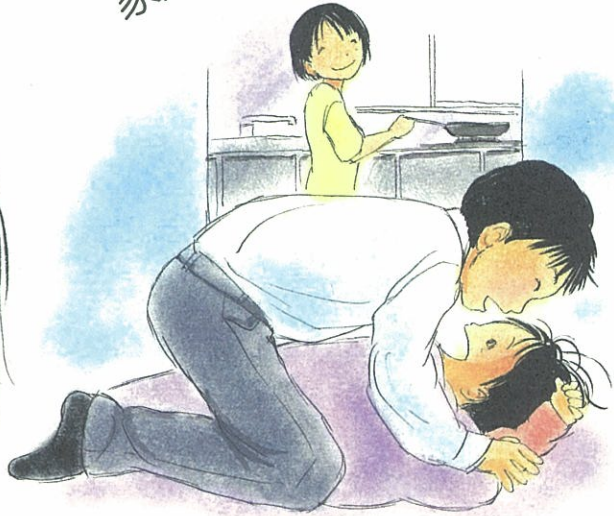
やおやさんは  
いろんな顔



ふっふっふした  
枝豆おいそう



家族で協力、食事のしたく



家族と一緒に  
食べることを楽しむ



食べたいもの、  
好きなものを  
増やす

食べ物や身体のことを  
話題にする



なにを食べれば、バナナうんち？



食事は楽しく！

「味覚などの五感を味わう」「栽培、収穫、調理を通して、わくわくしながら食べ物に触れる」「家族と一緒に食べることを楽しむ」「食べ物や身体のことを話題にする」といったさまざまな体験が、「食べたいもの、好きなものを増やす」ことにつながっていきます。